

寿都町のみなさまへ

7月27日（火）、寿都町総合文化センターウイズコムにて、第3回「寿都町対話の場」が開催されました。当日は、前回の対話の場において、会員のみなさまからの要望が最も多かった、①高レベル放射性廃棄物の地層処分のしくみや概要と②文献調査の進捗状況について、NUMOより説明、会員のみなさまからご質問・ご意見をいただきました。時間の都合上、説明・回答できなかつたものもありましたので、次回にこれらの議題の続きを取り扱うこととしました。いただいたご質問と回答につきましては、次回の対話の場通信においてまとめてお知らせいたします。

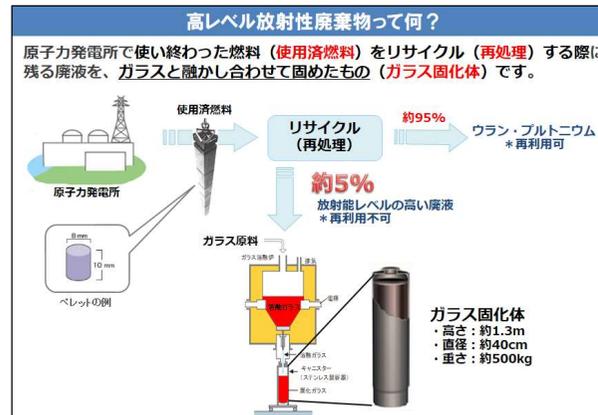
①高レベル放射性廃棄物の地層処分のしくみや概要について（説明資料の一部を以下のとおりご紹介いたします）

※ 説明資料は、NUMOホームページで公開しています（ホームページの閲覧方法は、裏面下段をご参照ください）。

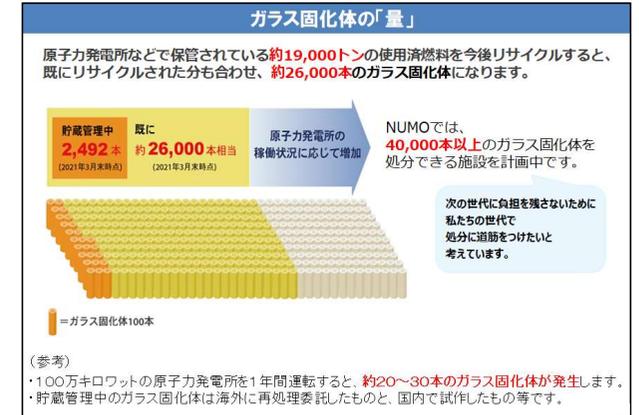


資料をスクリーンに投影し、説明が行われました。

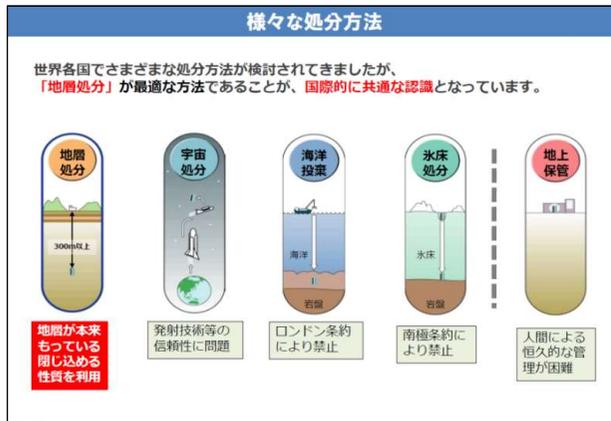
◆高レベル放射性廃棄物って何？



◆高レベル放射性廃棄物ってどれだけあるの？



◆高レベル放射性廃棄物はどうやって処分するの？



◆地層処分場ってどんな施設？



◆地層処分事業はどのように進めるの？



地層処分事業等の内容につきましては、対話の場以外でも町のみなさまの集会等でご説明させていただきますので、ぜひ、NUMO寿都交流センターまでお気軽にお声かけ下さい。

②文献調査の進捗状況について

※文献調査は机上の調査で、

ボーリングなどの現地調査は行いません。

また、文献調査をはじめ約20年程度の全調査期間中において、放射性廃棄物は一切持ち込みません。

<文献調査の流れ>

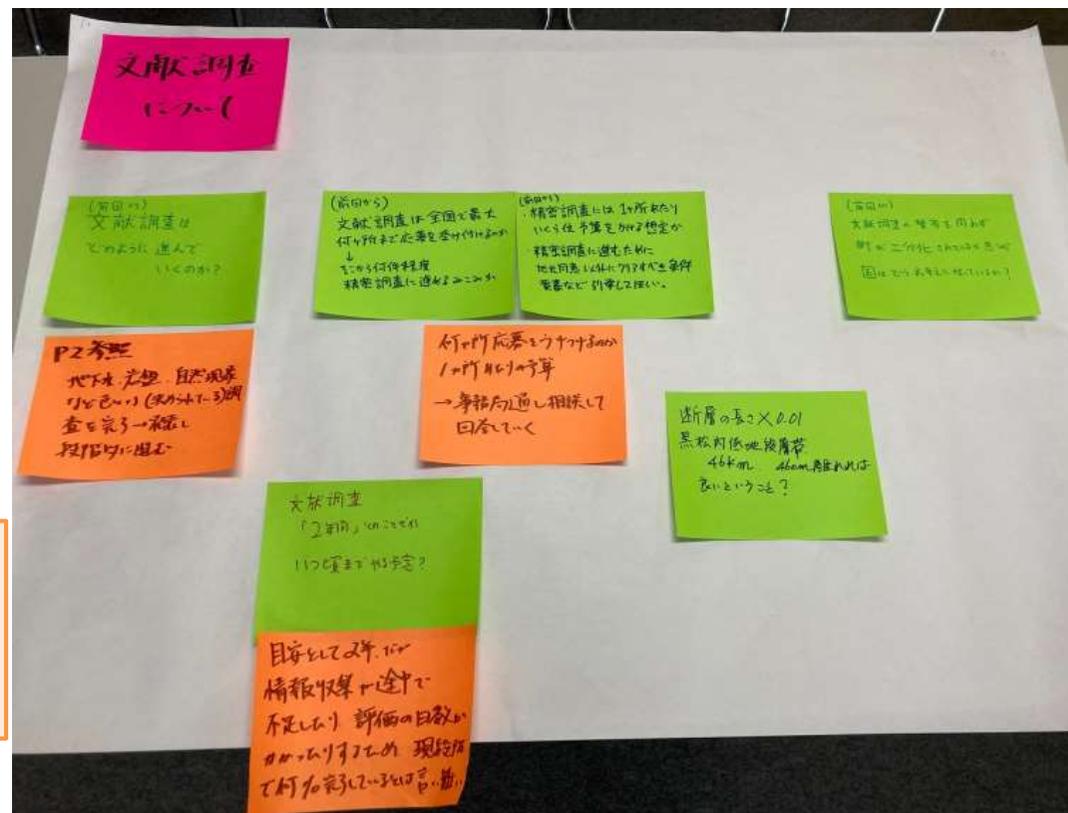
(1) 文献調査の開始 (2020年11月17日開始)

(2) 文献・データの収集

現在、地質図などの「文献・データの収集」を行っている途中です。

(3) 文献・データに基づく評価

(4) 報告書の作成



会員のみなさまがご質問・ご意見を付箋に記載したものを模造紙に貼りだしました。この模造紙は、NUMO寿都交流センター入口に掲示してあります。(NUMOホームページでもご覧いただけます。)

<ご参考：「町の将来に向けた勉強会」について>

前回の対話の場での議論を踏まえて、寿都町の将来に向けた勉強会を実施することとなりました。有志の町民のみなさまにご参加いただき、自由に幅広い話し合いをしていただければと考えております。

現在、16名の方にご応募をいただいておりますが、ご興味・ご関心がある方は、随時参加受付をしておりますので、引き続きのご応募をお待ちしております。

第3回「寿都町対話の場」における配付資料や映像、上記付箋などは、NUMOホームページでご覧いただけます。



NUMOホームページトップ下段、「文献調査の状況」→「文献調査実施中の地域」→「寿都町」→「これまでの経緯」→「2021年7月27日 [対話の場\(第3回\)を開催](#)」

原子力発電環境整備機構(NUMO)
<https://www.numo.or.jp>

NUMO 検索

